2022～2023 会報 RI第2720地区

Rotary

The Hitoyoshi Rotary

人吉ロータリークラブ

通算3153回
2023年3月3日
第26回例会

IMAGINE ROTARY

2022～2023年度 RI会長
ジェニファーE.ジョーンズ

人吉市九日町30・清流山水花 あゆの里 ☎㉒2171 例会場 事務局 清流山水花 あゆの里内 ☎㉔6665 ㉔6505

人吉ロータリークラブ ホームページ

フェイスブックページ

[E-mail] hitoyoshi-rc@mocha.ocn.ne.jp

2022～2023年度 人吉ロータリークラブテーマ
ロータリーを機会と捉え、その機会により未来を拓く

本日の例会

- 国歌斉唱・Rソング斉唱
- 会長の時間
- 幹事報告
- 出席率報告
- 結婚誕生祝い・会務報告
- 外部卓話　人吉税務署長
- 寄付カード

点　鐘　　青木一幸 会長

歌　唱　　ｿﾝｸﾞﾘｰﾀﾞｰ 竹長一幸委員

国 歌　「君が代」
R S　「我等の生業」

司会・進行　　ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ　小笠原賢治委員長

来訪者紹介　　青木一幸 会長

人吉税務署　署長　宮原 雅史　様

会長の時間

会長　青木一幸

皆さん、こんにちは。

本日は宮原人吉税務署長から卓話をいただくこととなっております。本来であれば、もう少し早くお招きをしてお話をいただく予定でしたが、諸般の事情もあり本日となりました。もっとも、大変話のお得意な署長ですので、人吉に慣れてこられたこの時期にお話しをいただく方が、かえっていろいろお聞きできるのではと思っているところであります。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

さて、今月は「水と衛生月間」です。なにゆえに水なのか、それは国際ロータリーとして、2030年までにすべての人に安全な水と衛生設備、衛生環境を提供するという目標を掲げているからであります。

日本や、特に熊本は水資源には大変恵まれていますので、この目標について個人的には何となく他人事のような感じになるのですが、しかし世界を見れば、水の問題が深刻な地域は世の中にはまだまだいっぱいあります。皆さんご存知だと思いますが、2019年12月にアフガニスタンで武装集団に襲われて命を落とされた医師の中村哲さんのことは、皮肉にも水がどれだけ重要かを再認識させられる事件でした。医師としてアフガニスタンに渡った中村さんは、貧しいひとびとに献身的な医療サービスを提供することに大変尽力をされていたわけですが、長引く戦乱や貧困から生み出されるけが人や病人を、一人の医師が助けるといっても土台限界があるとの思いから、一念発起、アフガニスタンの砂漠化した土地に水を引き、土地改良と農業振興に力を注がれました。それは、男性たちがお金を稼ぐために戦争に身を投じる必要がないように、また国民が健全な農業活動により生計を立てていくことで人生に生きがいややりがいを持たせるようにすることで、その地域に平和をもたらし、結果として貧困や病人をなくしていこうという壮大かつ高邁なものでした。

事実、中村さんの造った水路は、広陵とした土埃の立つ台地を緑豊かな農園に変え、そこに人びとが住まう集落を生み出し経済的な豊かさをもたらしました。そしてその取り組みは、その地域全体を巻き込んだ一大活動となり平和的気運の盛り上がりの一助にもなったわけであります。

しかし、それほど影響力がある活動なだけに、それを良く思わぬ陣営からの反発もありました。その地域が豊かになることは、戦闘員を募る武将集団にはけっしてウェルカムではありません。また水路の通った地域とそうでない地域との経済格差が発生すると、地域の首長同士のいざこざの元にもなりました。その結果、中村さんは凶弾に倒れることになったわけであります。

つまり、何を申し上げたいかと言うと、水の問題は、石油や天然ガスなどと同様、世界平和とも密接に絡む重要なテーマであるということです。水にめぐまれた私たちは、頭で解ってはいても、どうもその点がピンとこないのかもしれません。ロータリーがこうした月間を設ける意味はそうゆう点にあるのではと改めて思い至りました。

ところで、熊本で最近の水の話題と言いますとＴＳＭＣで使用する地下水の問題ではないでしょうか。半導体工場はご存知のとおり大量の水を使用します。今回のＴＳＭＣの工場では、水資源の保全のために、高度な水回収・リサイクルシステムを導入するとのことであります。具体的には、採取した地下水の７０％以上を循環利用するとともに、作付け前後の農地に水を張る湛水事業を実施し、採取量と同等以上の水を涵養するということです。

さらに、まだ先の話ではありますが、ＴＳＭＣの第二工場誘致の話も持ち上がっているようでして、そのための工業用水として、菊池川流域の上流に位置する竜門ダムの水を、国が管理する農業用パイプラインで引き込んで活用しようとの計画があるようです。

先ほど申し上げました世界平和との関連だけでなく、これからの国の経済発展を左右する重要なファクターとしても、石油や天然ガス、レアメタルなどと肩を並べて、水というものが大きくクローズアップされてくる時代が目の前に来ているということではないかと思います。

本日は、世界平和、経済発展と少し大上段に構えた中で水のお話をいたしました。ただ、私一個人としては、そんな大きなことを口にする前に、まずは水への感謝を持って、出しっぱなしの水道栓をこまめに閉めるといったことからコツコツ実行していかないといけないと自戒を込め決意を新たにしたところでした。皆さんも、今月を水の事を考える良い機会にしていただければ幸いです。

このあと宮原署長のお話が控えております。私の話はこれくらいに、本日の会長の時間を終わりたいと思います。ご清聴、ありがとうございました。

幹事報告

幹事　加登住 亮

≪定例理事会承認事項≫

・熊本県ろう者福祉協会球磨支部、熊本県手話サークルわかぎ人吉・球磨グループ主催、映画「ヒゲの校長」上映会の後援
　後援内容；パンフレット広告掲載1万円

・トルコ・シリア大地震被災地支援金としてクラブ会員負担1人1000円 計48000円を送金する(※)

　2720地区の対応について
　①地区財団活動資金（DDF）より災害救援基金として
　　ロータリー財団へ 20,000ドルを寄付金として拠出。
　②別途地区災害見舞積立金より100万円を被災地区である2430地区へ送金（※各クラブからの対応も受付）

・村山公園内の2013年慶山調印記念植樹の標柱は老朽のため同仕様の木製標柱を設置する。

≪連絡事項≫

・ロータリーレート　1ドル136円
・ガバナー月信３月号地区ホームページ掲載（回覧）
・財団室NEWS　2023年３月号　（回覧）
・例会取り止めのお知らせ
　熊本南ＲＣ、熊本東南ＲＣ　（回覧）

出席率報告

委員長　平山　修

現　会　員　数	48名	出席免除会員数	1名
出席義務会員数	47名	本日の出席率	
欠　席　者　数	13名	74.47％	
出　席　者　数	34名		
免除会員出席数	1名	ZOOM(3)　会場(32)	

【親睦委員会】　委長長　井手富浩

3月結婚記念祝い	
外山博之会員　３日	宮原和広会員　３０日
３月誕生祝い	
石蔵尚之会員　２日	外山博之会員　６日
中島博之会員　１７日	岩下幸司会員　２０日

会務報告

【地区大会実行委員会】

ゴルフ・ＥＸ委員会　中川貴夫

４月14、15、16日に地区大会が行われます。ご案内のとおり16日は当地でゴルフコンペが開催されます。

当初120名の目標でしたが、実際181名の参加になるようです。先日お話しましたように、人吉ＲＣ会員は調整メンバーとしてお願いをしております。また、実行委員会のお手伝いなどもご協力を頂くことになると思います。

人吉での開催ということで参加賞には球磨焼酎を計画しております。皆様どうぞ宜しくお願い申し上げます。

【プログラム委員会】

外　部　卓　話

講師紹介　青木一幸会長

宮原（みやはら） 雅史（まさし） 様　（５６歳）

【経歴】
昭和60年4月熊本国税局採用
・局個人課税課　課長補佐
・局企画課 課長補佐
・鹿児島署 総務課長
・伊丹署 副署長（出向）
・局総務部 営繕監理官
・局資料調査第一課長
・現職

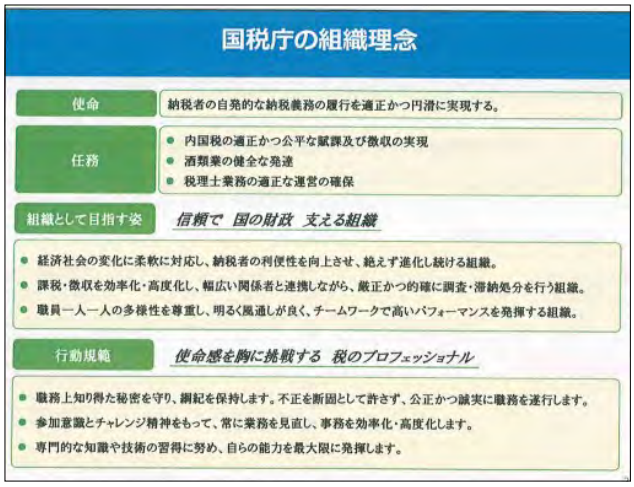
（趣味）車・バイク、ゴルフ
家族（妻、子供３人、愛犬）
人吉の官舎で単身赴任中

人吉ロータリークラブ卓話

国税庁の使命

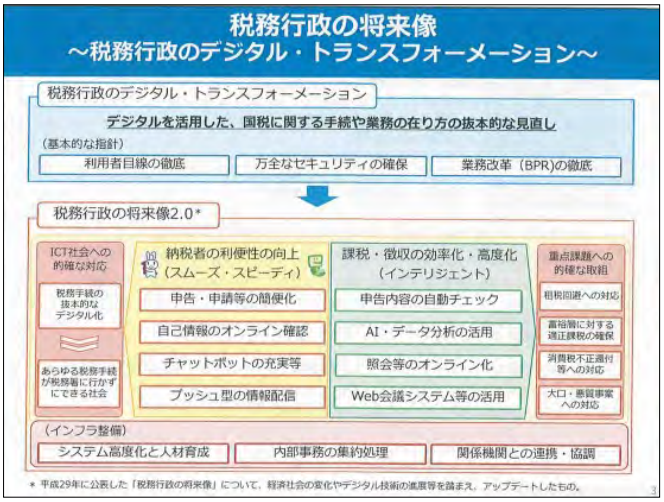
～税務行政の将来像～

人吉税務署長　宮原 雅史



国税庁の組織理念

我が国の税金は、納税者の一人一人が、自ら税務署へ所得などの申告を行うことにより税額が確定し、この確定した税額を納税者が自ら納付する申告納税制度を採用しています。この申告納税制度が適正に機能するためには、第一に納税者が高い納税意識を持ち、憲法・法律に定められた納税義務を自発的かつ適正に履行することが必要です。
そのため、国税庁の「使命」は、「納税者の自発的な納税義務の履行を適正かつ円滑に実現する。」とされています。
国税庁がその「使命」を果たすため、遂行すべき「任務」は、「内国税の適正かつ公平な賦課及び徴収の実現」、「酒類業の健全な発達」及び「税理士業務の適正な運営の確保」を図ることとされています。
国税庁がその「使命」や「任務」を果たすため、どのような組織を目指して組織運営を行っていくべきかを示す「組織として目指す姿」や、個々の職員が日々の職務を行うに当たって重視すべき規範・価値観を示す「行動規範」を取りまとめ、「国税庁の組織理念」として職員に示すとともに、公表しています。
平成13年に「国税庁の組織理念(国税庁の使命)」が制定されてから約20年が経過し、この間、国税組織を取り巻く環境は大きく変化しました。国税庁では、こうした変化を踏まえ、令和3年4月に新たな「国税庁の組織理念」を制定しました。国税職員が力を合わせ、国税庁の使命・任務を果たすため、「使命感を胸に挑戦する税のプロフェッショナル」として日々の職務を遂行し、新しい組織理念を実践してまいります。



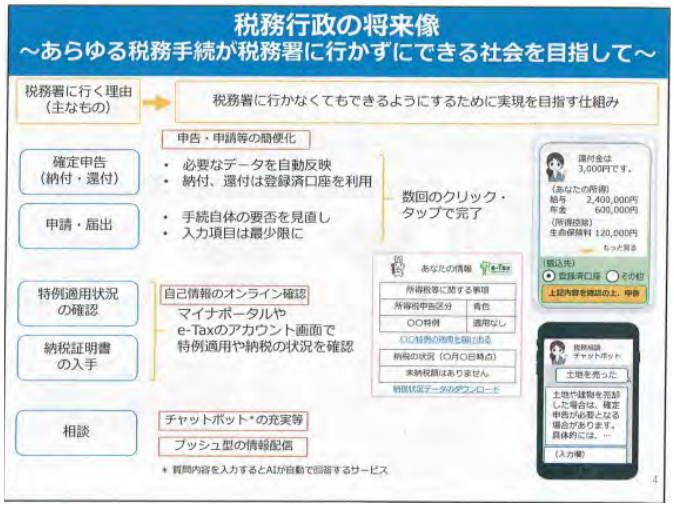
税務行政の将来像

▶ 税務行政のデジタル･トランスフォーメーション

国税庁では、令和3年6月に税務行政のデジタル・トランスフォーメーション、税務行政の将来像2．0を公表しました。デジタルの活用によりサービスや仕事の在り方を変革する、デジタル・トランスフォーメーションを推進する動きが社会全体で広まっていることや、行政の分野でもデジタル・トランスフォーメーションを進めていくという政府の方針などを踏まえて、作成した資料となります。
税務行政のデジタル・トランスフォーメーションとは、デジタルを活用して国税に関する手続や業務の抜本的な見直しであり、税務行政のデジタル・トランスフォーメーションによって実現を目指す将来

の税務行政のイメージが、税務行政の将来像2.0になります。

平成29年にも税務行政の将来像という資料を公表しているのですが、経済社会の変化やデジタル技術の急速な進展を踏まえアップデートしたものということで2.0という名前を付けて います。納税者の利便性の向上と課税・徴収の効率化・高度化を2本の柱としている点は、従来から継続している方針です。



▶ あらゆる税務手続が税務署に行かすにできる社会を目指して

納税者の利便性の向上に関する将来構想として、あらゆる税務手続が税務署に行かずにできる社会を目指していきたいと考えています。

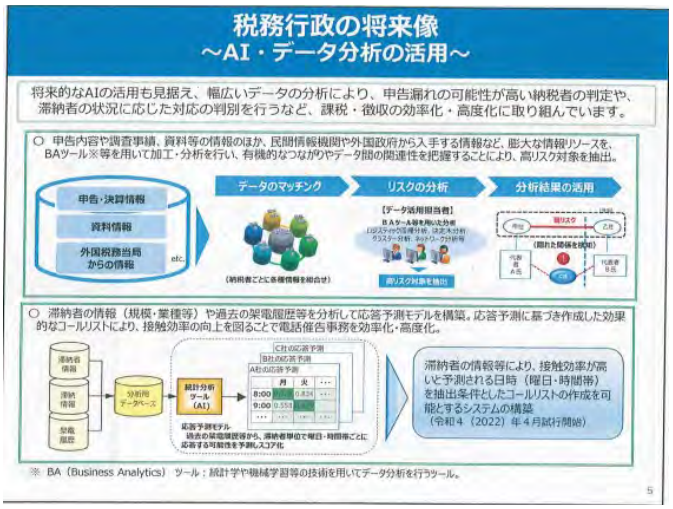
最初に、どのような目的で税務署に行くのかを考えますと、資料の左側にあるとおり、まず、確定申告や申請・届出などが挙げられます。それから、青色申告の承認を受けているかどうかといった特例適用状況の確認や、納税証明書の入手のために、税務署にいらっしやる方もいます。それらに関するものも含め、各種手続の相談に来られる方も多くいらっしゃいます。

右側には、税務署に行かなくてもできるようにするための実現を目指す仕組みとして、将来構想をいくつか掲げております。

まず、申告や申請・届出等については、簡単にできるということに尽きると考えており、数回のクリックないしはタップで申告等が完了する仕組みを目指していきたいという構想を掲げています。

その下、特例適用状況の確認や、納税証明書の入手については、それらに代えて、納税者の皆様がご自身の情報をオンラインでリアルタイムに確認できる仕組みを作っていきたいと考えています。

一番下、税務に関する相談については、チャットボットの内容の充実や、個々の納税者の状況に応じたプッシュ型の情報配信を通じて、税務署に行かなくても済むような環境を作っていきたいと考えています。



▶ ＡＩ・データ分析の活用

国税庁では、将来的なＡＩの活用も見据え、幅広いデータの分析により、課税・徴収の効率化・高度化に取り組んでいるところです。

上段は、課税の分野の取組です。申告内容や調査事績、各種資料情報など国税組織内・外における様々な情報の中から必要なデータを抽出・加工・分析等することにより、申告漏れの可能性が高い納税者を判定するという内容を示しています。

これに対して下段は、徴収の分野の取組です。国税局や税務署では、滞納している納税者の方に連絡を取る必要があるわけですが、電話をしても様々な理由により応答できないといった場合があります。そこで、個々の滞納者の情報や、過去の架電履歴等を分析して、接触効率の向上を図れないかといった検討を進めているところです。

こうしたデータ分析は、デジタルの利点を活用するという観点から非常に重要なものと考えており、引き続き積極的に取組を進めてまいります。

おわりに

税についての疑問や質問、関する各種情報は、国税庁ホームページでご確認ください。

ご清聴、ありがとうございました。

【寄付カード】

〈ニコニコ箱委員会〉

- **青木会長**　宮原署長、本日は確定申告のお忙しい中卓話にお出で頂き、誠に有難うございました。
- **浅野会員**　沢山のゴルフ賞品（米）有難う御座います。
- **加登住幹事**　宮原署長、本日は卓話をいただきありがとうございました。
- **新堀会員**　宮原署長、楽しい卓話ありがとうございました。
- **中川会員**　宮原様、楽しい卓話ありがとうございました。

点 鐘　　青木一幸　会長